

当院に NICU 入院された血液培養陽性患者さんの診療情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者

京都第一赤十字病院 新生児科

木下大介

連絡先電話番号 075-561-1121

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、当院倫理審査委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さまに不利益は生じません。

1. 対象となる方

対象：2015年1月から2024年3月の期間に当院のNICUとGCUに入院した症

例のうち、血液培養が陽性となった方

2. 研究課題名

NICUにおける Follow up blood culture:単施設での後方視的観察研究

3. 研究実施機関

京都第一赤十字病院新生児科

4. 本研究の意義、目的、方法

- 血液培養陽性者に対する繰り返しの血液培養検査（Follow up blood culture, FUBC)は多くの医療現場で行われているプラクティスです。成人領域では黄色ブドウ球菌菌血症やカンジダ血症では FUBC が推奨されていますが、グラム陰性桿菌菌血症での有用性は低いと報告されています。NICU 患者は免疫不全状態のため、確実な抗菌薬治療には FUBC が必要と考えられていますが、NICU における FUBC の実態と有用性を評価した研究は存在しません。そのため、我々は単施設での後方視的研究を実施します。

- 本研究の目的は、NICU で血液培養陽性となった方へのその後の血液培養の実施の有用性を評価することです。NICU にて確実な感染症診療を行う上で、有益な情報になると考えます。
- 対象期間中に NICU へ入院され、血液培養が陽性となった患者様の診療内容の情報を電子カルテから収集いたします。

5. 協力をお願いする内容

入院年月、入院時月齢、性別、在胎期間、基礎疾患の有無、血液培養実施状況、血液培養検出菌など、診療録に記載されている情報を提供いただきます。

6. 研究期間

倫理審査委員会承認日～2026年3月31日

7. プライバシーの保護について

本研究では、匿名化した患者様のデータを集計し、その数値を結果として発表する予定ですので、患者様個人の診療情報が発表されることはありませんし、また、患者様を特定できるような情報も含まれません。

8. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

京都第一赤十字病院

新生児科 副部長 木下大介

連絡先: 075-561-1121（代表）

E-mail: daisuke-kinoshita@kyoto1.jrc.or.jp